

## 第4章 健康づくり・栄養

岐阜県の健康増進計画である「第2次ヘルスプランぎふ21」及び「第2次岐阜県食育推進基本計画」に基づき、健康づくり対策を推進した。

食育の推進については、「第2次岐阜県食育推進基本計画(平成24～28年度)」に基づき、第1次計画では、子どもとその保護者への食育を重点に取り組んできたが、第2次計画では、食育の機会が得られにくい「青年期層(16～39歳)」を重点世代に加え、食育推進会議、食育指導者研修会、食育推進ボランティア育成研修会、大学生への食育普及活動などを、市、関係機関、団体等と連携して行った。

特定給食施設等については、栄養管理報告書により状況を把握し、巡回個別指導や研修会を実施し、栄養管理及び給食管理についての指導及び助言を行った。これらの取り組みにより、各特定給食施設等において適切な栄養管理、衛生管理、危機管理及び食育の取り組みの向上に結び付いている。

食環境整備事業として「ぎふ食と健康応援店事業」を実施して登録店の拡大及び登録店からの健康情報の発信、また、食品表示合同監視、栄養成分表示の活用方法の普及により、県民が自ら健康管理に目を向け実践できる食環境づくりを推進した。

平成27年4月1日に食品表示法が施行され、消費者向けの加工食品及び添加物に栄養成分表示が義務となった。食品関連事業者等に対して食品表示基準及び健康増進法31条に基づく適切な表示をするよう周知、指導を行った。あわせて、県民(消費者)に対しては、日々の栄養・食生活管理による健康増進のために、栄養成分表示の活用を普及啓発した。

県民の身体の状態、栄養摂取量及び生活習慣の状態を把握し、県民の健康増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得るために、国民健康栄養調査及び県民健康栄養調査を実施した。

禁煙指導事業として、中学生に対する喫煙防止講演会や禁煙支援指導者研修会を開催するなど喫煙者の増加抑制及び受動喫煙対策を推進した。